

ヘリテージまちづくり講座 2013

～文化遺産を保存・活用する

「館山まるごと博物館」のまちづくり～

小高記念館

世界遺産（ワールドヘリテージ）をめぐる旅が人気となり、地域の自然遺産や文化遺産が見直されるようになりました。

1995年広島原爆ドームの世界遺産登録を機に、戦争遺跡が文化財として認められるようになり、館山市でも赤山地下壕跡は市指定史跡となりました。また、関東大震災で99%壊滅し古建築が少ないものの、震災を乗り越えた建物や震災直後のモダンな和洋折衷建築などが点在しています。



私たちは、足もとの地域にある多様な文化遺産を保存活用し、「館山まるごと博物館」のまちづくりを提唱しています。ヘリテージを愛する皆様のご参加をお待ちしています。

◎参加費無料、ただし非会員は登録料1,000円

	日付	テーマ	講師
0	7月23日 (火)	オリエンテーション 「東京湾まるごと博物館」	NPO法人アクションおっぱま NPO法人安房文化遺産フォーラム
1	8月27日 (火)	東京湾要塞の戦跡バスツアー 木更津市・富津市	栗原克榮（千葉県歴史教育者協議会）
2	9月24日 (火)	漁村資料と漁具の保存管理と調査 小谷家住宅	白水 智（中央学院大学准教授）
3	10月22日 (火)	佐倉市の町並み視察バスツアー	山倉洋和（NPO法人佐倉一里塚理事長） 福留 強（NPO全国生涯学習まちづくり協会理事長）
4	11月16日 (土)	館山市の歴史建物バスツアー 小高記念館・紅屋・赤門鈴木家	榮山慶二（文化財建造物保存技術協会）
5	2月16日 (日)	シンポジウム 「館山まるごと博物館」	大原一興（横浜国立大学大学院教授）

主催：NPO法人安房文化遺産フォーラム 0470-22-8271 awabunka@awa.or.jp

共催：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会



平成25年度文化庁「地域の文化資源を活かした地域活性化」事業

ヘリテージまちづくり講座

申込：FAX0470-22-8271 Eメール awabunka@awa.or.jp 〆切8月20日 定員20名

※昼食代・資料代等実費、詳細は追ってお知らせします。

フリガナ

名前 _____ (男・女) 年齢 _____ 歳 昼食希望 (有・無)

住所 _____ 電話 _____

ヘリテージまちづくり講座 2013

～文化遺産を保存・活用する「館山まるごと博物館」のまちづくり～

参加費無料（但し、非会員は登録料 1,000 円）

※ 連続講座の申込みが優先となります。個別事情は応相談。

=第1弾=8月27日(火)=

東京湾要塞の戦跡バスツアー（木更津市・富津市方面）

集合 8:45 館山市役所4号館 9:00 出発 17:00 頃帰着予定
講師：栗原克榮（千葉県歴史教育者協議会） 昼食代 1,000 円

明治時代、外国の軍艦が東京湾に侵入することを防ぐために、房総半島と三浦半島の沿岸は「東京湾要塞」として、砲台ネットワークが築られました。関東大震災で軍事施設が壊滅した後、館山市内には、洲崎第一砲台（1932年完成）、洲崎第二砲台（1927年完成）、北側の南房総市には大房岬砲台（1932年完成）がつけられました。館山湾を埋め立てた館山海軍航空隊は、1930年に開けられました。同時期に建設された木更津・富津方面の戦争遺跡をめぐり、「東京湾まるごと博物館」を学び、広域連携のまちづくりを考えましょう。

【見学地】

- ・富津元洲砲台跡 …28センチ榴弾砲6門が1885年完成、後に2門は日露戦争の旅順攻撃に使用。
- ・第一・第二海堡（遠望） …浦賀水道に砲台がつけられた人工島、関東大震災で罹災。
- ・第二海軍航空廠佐貫地下工場跡と八重原工場跡 …日本最大の軍用機修理工場。
- ・木更津海軍航空隊関連施設跡 …1936年開隊、渡洋爆撃のために本格的な中攻部隊を配備した基地。

=第2弾*9月24日(火)=

漁村資料と漁具の保存管理と調査（館山市富崎地区）

集合 8:45 安房自然村バス停 16:00 頃終了予定
会場 小谷家住宅（館山市指定文化財）、富崎地区公民館 昼食代 1,000 円
講師・白水智（中央学院大学准教授・長野県栄村震災復興プロジェクト）

1904年に青木繁が《海の幸》を描いた房州富崎村（現館山市）は、マグロ延縄漁やアワビ漁で栄えた漁村でした。昨今、青木繁が滞在した小谷家住宅（館山市指定文化財）から明治時代の貴重な資料が見つかり、近代水産業発展の先駆けとして、当村が重要な役割を果たしていたことが分かってきました。今日、水産業の姿が大きく変貌してきましたが、伝統的な漁村の歴史文化を伝える漁具や生活民具などの価値を確認し、地域の誇りを語り継いでいきましょう。

..... 以下、詳細は裏面で申込みの方に後日お知らせします。.....

=第3弾*10月22日(火)=

佐倉の町並み視察バスツアー（佐倉市）

第4弾*11月16日(土)

館山市の歴史建物バスツアー（赤門鈴木家住宅・紅屋商店・小高記念館）

=第5弾*2月16日(日)=

シンポジウム「館山まるごと博物館」

シンポジウム「東京湾まるごと博物館」

～戦争遺跡と文化財を活かした館山と追浜のまちづくり～

日時：平成 25 年 7 月 23 日(火) 10:00～12:00

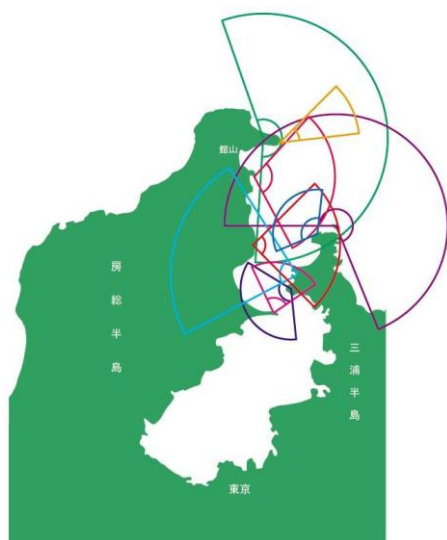
場所：館山市中央公民館 第一集会室 参加費：無料

報告 1 横須賀・追浜の現況と課題

報告 2 館山の実践と今後の展開

討議 戦跡等を活かしたまちづくりに向けての地域連携

コメンテーター：岡田昌彰（近畿大学教授）



東京湾をはさんだ房総半島と三浦半島は、古代からつながりが深く、類似した自然や歴史文化を共有しています。特に近代では東京湾要塞地帯として、ともに重要な戦争遺跡が多く残っています。

平和学習の場として一般公開されている赤山地下壕跡は、館山市指定史跡です。一方、関東大震災で東京湾に沈んでいた第三海堡(かいほう)は、近年、国土交通省によって追浜に引き揚げられ、横須賀市指定重要文化財になりました。

NPO安房文化遺産フォーラムとNPOアクションおっぱまは、ともに戦跡や文化財などを保存活用し、地域全体を「まるごと博物館」ととらえ、市民が主役のまちづくり活動を進めています。この機会にお互いの事例を学び合い、「東京湾まるごと博物館」として広域連携の可能性を考え、交流を深めたいと思います。

要塞とは、外敵から重要な地点を守るための構造物、とりでのことです。上の逆さ地図は、明治 13(1880)年から築かれた「東京湾要塞」の砲台の位置と射程範囲を示しています。狭い浦賀水道には、砲台を設置した3つの海堡(人工島)が 30 年がかりで作られましたが、関東大震災で被災し、第三海堡は海中に沈みました。軍事施設の復旧が急がれるなか、館山湾が大規模に埋め立てられて、震災7年後の昭和 5(1930)年に館山海軍航空隊が開かれました。

主催：NPO法人アクションおっぱま、NPO法人安房文化遺産フォーラム

後援：横須賀市教育委員会、館山市教育委員会、青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

館山まるごと博物館めぐり【オプションバスツアー・要予約】

申込：FAX0470-22-8271 Eメール awabunka@awa.or.jp 〆切 7 月 15 日

参加費 1,500 円(見学科・ガイド料・ガイドブック代・保険料等)／昼食 800 円は要予約

13:00～17:00 赤山地下壕跡、青木繁《海の幸》ゆかりの漁村(小谷家住宅・記念碑・布良崎神社)

フリガナ

名前 _____ (男・女) 年齢 _____ 歳 昼食希望 (有・無)

住所 _____ 電話 _____

NPO法人アクションおっぱま とは…

<http://www.action-oppama.org/>

横須賀市追浜地区は、海側の工場地帯、丘の上の住宅地、商店街の広がる市街地など、日本の大都市の典型のようなところですが、しかし、少子高齢化などの状況の変化で、地域は多くの課題を抱えています。また、多くの歴史的資産がある魅力的なまちですが、それが活用されているとはいいいきれません。追浜を「だれでもが安心して暮らせるまち」「地域にある資源を活かした魅力的なまち」にするため、市民、企業、大学、行政が連携・協力できる場をつくり、まちづくりのさまざまな課題に取り組んでいます。（理事長 昌子住江）



* 東京湾から引き揚げられた戦跡「第三海堡」

＝毎月第一日曜日 10～15 時ガイド付見学OK、団体は要予約@500 円



* 交流の場「こみゆに亭カフェ」

＝喫茶、野菜や手づくり品販売

NPO法人安房文化遺産フォーラム とは…

<http://bunka-isan.awa.jp/>

地図を逆さに見てみると、房総半島南端の千葉県館山市は、弧を描いた日本列島の中心で、太平洋に突き出た海路の拠点であることに気がつきます。足もとにある戦争遺跡や里見氏城跡群、青木繁《海の幸》誕生ゆかりの漁村、日本一隆起した地層（ジオパーク）など、豊かな景観や歴史的環境は、地域まるごと野外博物館そのものです。今年度は、地域の文化遺産を保存活用する人材（ヘリテージマネージャー）講座を開催します。次回は、8月27日（火）木更津・富津方面の東京湾要塞戦跡フィールドワークを行ないます。（理事長 愛沢伸雄）



* 赤山地下壕跡＝毎月第一日曜午前にガイドサービス有



* 小高記念館

＝NPO活動拠点
大正期の銀行建物

* 青木繁《海の幸》
誕生の家と記念碑
を保存する会

安房国再発見!

布良^{めら}という聖地へ
行こう

青木繁が《海の幸》を描いた漁村

画家の愛した漁村は
布良星（カノープス）が輝く
神話のふるさと

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会
事務局：NPO 法人安房文化遺産フォーラム
〒294-0036 千葉県館山市館山95 小高記念館
TEL & FAX 0470-22-8271

文化庁「地域の文化遺産を活かした観光資源と地域活性化事業」